



熱く丁寧に講話くださった菅原会長

本連合会リーダー研修会が、11月5日(木)、自治会長や地域の防災担当者などが参加し、ひたちなか市文化会館で開催されました。

本市でも、甚大な被害を受けた東日本大震災から5年。あの時の記憶が、生々しく残っています。

今回は、度々の洪水や地震に襲われてきた経験から「災害に強い町内会」を目指して活動している、仙台市宮城野区福住町の菅原康雄町内会長をお招きして、『隗かより始めよう悔るな地域力・できるだけ行政に頼らない地域力』というテーマによりお話いただきました。

「自分たちの地域は自分たちで守る」
「一つしかない大切な命」



災害を100%防ぐことはできない。被害を、できる限り少なくする「減災」に力を入れることしかない。いざという時、頼りになるのが、身近な地域の「人と人とのつながり」である。「公助」を頼りに待つのには、リスクが高い。隣近所の人こそ、お互いの命を助け合う、かけがえのない存在である。それには、名簿づくりが重要。

自分たちの地域から一人の犠牲者も出さない：一つしかない大切な命。自分たちの力で命を守ることに、すなわち「自分たちの地域は、自分たちで守る」覚悟が現実的であると説いていました。

福住町町内会の主な取り組み

①名簿づくり

- ・いざという時、お互いに助け合うには、住民の現状を正確に知ることが大切
- ・氏名、年齢、電話番号、緊急連絡先等の情報を名簿に記載

②防災訓練の実施

「訓練でできなかったこと」=「いざという時できない」・・・常日頃の訓練を重視

③災害時相互協力協定

災害時の互助体制づくりのため、他の町内会や市民団体と交流

④日頃のご近所づきあい

家族や友人・知人とのつながりを大切にする地域づくり



自治会連合会の活動状況をお知らせします

市への要望書の提出

12月18日（金） 市役所

要望書を本間源基市長へ提出し、自治会に対する支援等について、理解と協力を求めました。

■概略

1 自治会運営の健全化に対する支援について

高齢化の進行等による、防災や福祉に関する自治会活動の複雑化及び役員の担い手不足、未加入者・脱会者の増加や資源回収量の減少による財政悪化など、自治会の課題について現状を伝え、支援と担い手不足のための配慮について要望しました。

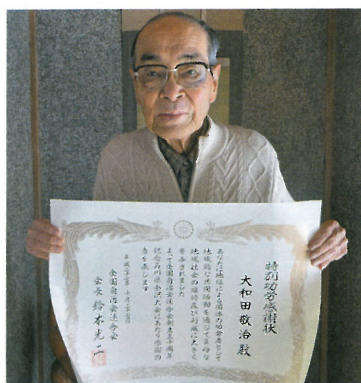
2 防犯灯設置等補助の拡充について

市が推奨するLED防犯灯への交換・新設等に関する工事について、自治会負担が大きい現状を伝え、LED化の促進を図るため、補助制度の拡充や支援について要望しました。



大和田元連合会会長へ感謝状贈呈

10月27日（火） 石川県金沢市



大和田元会長と感謝状

10月27日（火）、全国自治会連合会石川県金沢大会が開催され、自治会連合会の元会長である大和田敬治（おおわだけいじ）さんに、特別功労感謝状が贈呈されました。

大和田元会長は平成10年から西中根自治会の会長を務め、当自治会連合会会長や一中地区地域のふれあいを広める会の会長を歴任され、17年の間、組織運営の先頭に立ち、地域の発展のためにご尽力されました。

現在は一自治会員として活動をしている大和田元会長にお話を伺うと、「今後は自分の健康に十分気をつけながら、地域のためにできる範囲で貢献していきたい」と、地域への思いは以前と変わらない様子でした。

産業交流フェア「交通安全フェスティバル」に参加

10月31日（土） 総合運動公園

10月31日（土）、総合運動公園で開催された「交通安全フェスティバル」に参加しました。

「交通安全フェスティバル」は、交通安全に関する各種展示のほか、アトラクションを通して市民に対し交通安全の啓発と交通事故未然防止の呼びかけを目的に毎年開催されています。

会場では、「白バイ・パトカーの展示」、「酒酔いゴーグル体験」、「交通安全啓発映画上映」、「シートベルト体験車」など17のコーナーを設けて来場者に交通安全の大切さを呼びかけました。

当日は、気温が低く寒空でしたが、多くの方が来場し会場は大賑わいでした。



防災活動

総合防災訓練の意見交換会

11月27日（金）

ワークプラザ勝田
しあわせプラザ

8月に実施された「総合防災訓練」について、市と自主防災会による意見交換会が行われました。下は、意見交換の一部です。

自主防災会：子供達の参加が少なく、学校側の対応も素っ気ない。子供会育成会に確認したところ、訓練の存在を知らなかったとの声がある。

市：本年度から、小中学校に呼びかけを行い、今回は教育委員会との通信連絡や一斉メールによる安否確認を実施してもらった。今後は、地域との連携について促進を図っていきたい。

消防出初式に参加

1月10日（日）

新光町多目的広場

本年度の消防出初め式は、1月10日（日）、新年にふさわしく気分一新して安全を祈願し、総合消防力を公開し、防火・防災への意識の高揚を図るため、新光町多目的広場で行われました。式典には、消防関係者約1,150人が参加し、40台を超える消防車両が出動、また、82の自主防災会が飯島隊長を先頭に堂々と徒歩部隊の行進に参加し、その勇姿を披露しました。



式典後には、栄光幼稚園児の演技や消防隊による救出訓練、さらに消防団や特設消防隊による一斉放水が行われました。

生活の場での支え合い

～自治会未加入者をどうして減らすか？～

現在、自治会の課題は、加入率の低下です。全戸加入が原則であった自治会に、何が起きているのでしょうか。社会の多様化や価値観の問題など、どうしようもない事なのでしょうか。

原因には、新世帯への自治会の情報が届いていないこともあるでしょう。「引越越しそば」の「おそばに参りました、よろしくお願ひします。」の慣習は、隣近所の助け合い・支え合いになっていったような気がします。また、冠婚葬祭を通じてのつながり、生活道路の修繕（みちぶしん）など、専門業者や行政などの手に移ることで、助け合いや協働の機会も減少してきました。

日常生活で、地域や隣人を頼りにする関係をもたなくても、生活に支障はなくなってきたのかもしれませんが。自治会に加入して負担を感じる必要はない、と考える方もいるかもしれませんが。自治会へ参加することは、自分にメリットがあるか、ないかだけではないと思います。

自治会は、地域と地域住民の共通の問題を、包括的に捉え対処する組織です。活動は、会員のためというより、地域のための性格が強いのです。例えば、防災・防犯活動、環境美化、ごみの減量化や資源化への取り組み、子どもの健全育成、高齢者の見守りなどです。

私たちの生活は、家庭や職場と並んで、地域という場で営まれています。未加入の方は、自治会行事や会合に、まず体験だと思って顔を出すことを考えて欲しいと思います。そこで、地域発見の面白さを知ることができるかもしれません。

生活の場での支え合いの力を弱めないために、支え合いの輪（自治会）に入っただけのことを、期待したいと思いません。

未加入者を減らす努力は、それぞれの自治会で真剣に取り組んでいます。

市と自治会連合会では、転入者などが、自治会へ関心を持っていたかどうか、加入促進策の一つとして、市役所窓口にて、活動を紹介した封筒を備え付けることにしました。

クリスマス会開催【二中学区】

12月12日(土)、市毛にある「ひたちなか子どもふれあい館」の館庭において、市毛北・南自治会と各種ボランティアの方々と共同で毎年恒例となっているクリスマス会を開催し、あわせて開館10周年記念式典を挙げていただきました。式典終了後、サンタからプレゼントをもらう子どもたちは、とてもうれしそうでした。クリスマス会に参加する人は毎年増えており、今後も地域の絆を深める行事として続けていきたいと思っております。



三世代交流会【西原】

西原自治会では、正月の行事として行われていた繭玉飾り・ワーホイを次世代に伝えるために、1月11日(月)、三世代交流会を実施しました。西原集会所で無病息災を念じながら「ワーホイ」を唱え、4人の代表者による点火の後、激しく燃え盛る炎の勢いに、改めて身の引き締まる思いを感じました。大勢の皆さんで、あべ川餅や雑煮をほおぼり、参加者全員による記念撮影、ビンゴゲームを通して親睦と絆を深めることができました。



健康体操【はしかべ】

はしかべ自治会では、毎月第一水曜日に健康体操を実施しています。健康体操には約15名が参加し、自治会員同士で健康意識を高めています。体操をすることで、体がほぐれリラックスできるだけでなく、休憩時間や体操中に隣の人と世間話をする「コミュニケーションの場」となっています。現在は70代の方が中心ですが、今後はより多くの世代の方に参加していただけたらと願っております。



世界を歩く【うなぎ溜花壇の会(堂端)】

『一寸寄り道を』と花壇を始めて9年が経ちました。テーマを変えつつ昨年からは『世界を歩く』へ夢を進化させ、その第一歩として『プロヴァンス風景エリア・モダン日本エリア』などを設けて、地域環境づくりの一端になる事を願い、石を並べ雰囲気作りに勤しんでおります。身近な植栽の花々を見ながら散歩して下さる人々がエリア内の雰囲気を楽しんでいる様子は、私たちの喜びと健康の源となっております。



今後の行事



4月26日(火) 平成28年度
自治会連合会総会

編集後記

秋の運動会は、ほとんどの地区で雨天中止となりましたが、その後はリーダー研修会・交通安全フェスティバルとも無事実施されました。本年初頭の消防出初式は、近來にない晴天に恵まれ、さい先の良いスタートが切れたと思います。このスタートを機に、会員相互の協力により自治会の課題に取り組みしましょう。(連合会広報委員会)